

# 「人工林」だって立派な森林～しっかり管理すれば天然林も負けない林に？～

独立行政法人

## 森林総合研究所

農学(林学)

会期：2010年8月4日(水) 12:00～8月6日(金) 15:30 2泊3日

花粉症問題や「自然保護」思想の高まりで、人工林に対しては漠然と否定的なイメージを抱く人は多いだろう。しかし、人工林は、国内の森林の4割を占めており、木材の持続的生産だけでなく、様々な公益的機能を維持するという側面からもその存在意義は大きい。本プログラムでは、若齢(20年生以下)から高齢(約200年生)まで様々な林齢のヒノキ人工林を観察し、植栽木の本数密度や直径・樹高等森林構造の計測を体験してもらう。この調査体験をとおして、人工林であっても適切な管理がなされていれば健全な森林になりうることや、樹木のもつ生命力(成長の持続性)の高さを、実感してもらうことがねらいである。



### 会場

独立行政法人 森林総合研究所  
茨城県つくば市松の里1  
(JR常磐線「牛久駅」下車、バス約10分)  
URL: <http://www.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>  
宿泊場所: 農林水産省 農林水産技術会議事務局  
筑波事務所 国内研修生宿泊施設

### 募集人数

8名

### キャンプのプログラム内容(予定)

1日目: ガイダンス、研究施設見学に引き続き、本コースの概要説明、日本の人工林の現状と諸問題や林木の生長特性に関する講義、および人工林における生物多様性に関する講義を行う。その後、野外調査手法やデータ処理方法の解説を行う。なお、状況によっては研究所構内の若いヒノキ林の観察を行うかもしれない。

2日目: 茨城県南部(笠間市周辺)の林齢の異なる複数のヒノキ人工林を観察するとともに、本数密度、直径、樹高等の計測を実施する。その中で、人工林でも、適切な管理が行われていれば、立派な森林に成長することを体感していただきたい。時間的余裕があれば、研究所に帰着後、高齢人工林に生育していた樹木の円盤(木の根本部分の輪切り)の年輪の測定を行い、樹木の生長経過についての検討も行ってもらいたい(3日目に変更の可能性あり)。

3日目: 前日の調査データを整理、解析し、取りまとめた結果を発表する。

### スケジュール(予定)

#### 1日目 8月4日(水)

12:00 JR常磐線「牛久駅」に集合  
13:00～14:00 開講式/オリエンテーション  
14:00～15:00 研究所施設見学  
15:00～17:15 コース概要説明、講義(日本の人工林の現状、樹木の成長特性、人工林における生物多様性について)

#### 2日目 8月5日(木)

9:00～10:30 調査地へ移動(宿泊場所で参加者をピックアップ)  
10:30～12:00 ヒノキ人工林の毎木調査  
12:00～13:00 昼食  
13:00～15:30 ヒノキ人工林の毎木調査  
15:30～17:15 森林総研へ移動  
17:15～19:00 講師等との交流会

#### 3日目 8月6日(金)

9:00～12:00 データ解析、まとめ  
12:00～13:00 昼食  
13:00～14:00 まとめ  
14:00～14:30 プレゼンテーション  
14:30～15:00 閉講式/記念撮影  
15:30 JR常磐線「牛久駅」で解散

1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。

### プログラムの関連図書、Webサイト紹介

参考図書:  
「森林の生態学」 正木隆ほか編 文一総合出版

森林総合研究所森林植生研究領域  
URL: <http://www.ffpri.affrc.go.jp/research/ryoiki/new/02for-vegeta/new02.html>